

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月11日

上場取引所 JQ

上場会社名 チヨダウーテ株式会社

コード番号 5387 URL <http://www.chiyoda-ute.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 平田 晴久

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 三輪 周美

TEL 059-364-5215

四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	12,095	—	△549	—	△658	—	△452	—
21年3月期第2四半期	15,218	—	△129	—	△279	—	△413	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	△35.06	—
21年3月期第2四半期	△32.04	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	34,542	11,367	32.9	881.71
21年3月期	35,188	11,925	33.9	925.03

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 11,367百万円 21年3月期 11,925百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 有

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,596	△13.1	△369	—	△603	—	△415	—	△32.24

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】「4. その他」をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第2四半期 12,910,000株 21年3月期 12,910,000株

② 期末自己株式数 22年3月期第2四半期 17,834株 21年3月期 17,834株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第2四半期 12,892,166株 21年3月期第2四半期 12,892,166株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、4ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出の増加や定額給付金等の政策効果による個人消費の改善などにより緩やかな回復がみられます。しかしながら、企業収益の悪化により設備投資は大幅に減少し、雇用・所得環境も一段と厳しさを増しており、先行き不透明な状況が続いております。

住宅投資は、雇用・所得環境の悪化などから大幅な減少が続いており、平成21年度第2四半期連結累計期間における新設住宅着工戸数は384千戸（前年同四半期比33.9%減）と大幅に減少しております。

石膏ボード業界におきましても、製品出荷数量が213百万㎡（前年同四半期比15.3%減）と引続き厳しい状況が続いております。

当グループにおきましては、厳しい需要・収益環境のなか、製品加工の集約化・効率化・内製化等による変動費の圧縮を図り、また、販管費や製造経費の固定費削減を推し進め、収益の確保に全力で努めております。

この結果、当グループの当第2四半期連結累計期間における業績は、需要の低迷により、売上高は120億95百万円（前年同四半期比20.5%減）となりました。生産数量の減少、メンテナンス費用、減価償却費の負担等により営業損失は5億49百万円（前年同四半期は営業損失1億29百万円）、支払利息の計上などにより経常損失は6億58百万円（前年同四半期は経常損失2億79百万円）、四半期純損失は4億52百万円（前年同四半期は四半期純損失4億13百万円）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 財政状態の分析

(資産)

資産合計は、345億42百万円（前連結会計年度末比6億45百万円減）となりました。

流動資産の減少（前連結会計年度末比14億72百万円減）は、現金及び預金の減少（前連結会計年度末比5億42百万円減）、受取手形及び売掛金の減少（前連結会計年度末比5億97百万円減）が主な要因であります。

固定資産の増加（前連結会計年度末比8億21百万円増）は、機械装置び運搬具の増加（前連結会計年度末比1億90百万円増）、長期貸付金の増加（前連結会計年度末比1億99百万円増）が主な要因であります。

(負債)

負債合計は、231億75百万円（前連結会計年度末比87百万円減）となりました。

流動負債の減少（前連結会計年度末比9億6百万円減）は、短期借入金の減少（前連結会計年度末比2億60百万円減）、支払手形及び買掛金の減少（前連結会計年度末比7億27百万円減）が主な要因であります。

固定負債の増加（前連結会計年度末比8億19百万円増）は、社債の増加（前連結会計年度末比6億15百万円増）、長期借入金の増加（前連結会計年度末比1億91百万円増）が主な要因であります。

(純資産)

純資産合計は、113億67百万円（前連結会計年度末比5億58百万円減）となりました。

これは、配当金の支払、四半期純損失の計上による利益剰余金の減少（前連結会計年度末比5億80百万円減）が主な要因であります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の期末残高は、15億65百万円と前連結会計年度末に比べ5億42百万円の減少となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な増減要因は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローにつきましては、89百万円の支出（前年同四半期は2億97百万円の収入）となりました。これは、税金等調整前四半期純損失6億83百万円（前年同四半期は6億2百万円の損失）、減価償却費7億29百万円（前年同四半期比9百万円減）、売上債権の減少額5億93百万円（前年同四半期比3億15百万円増）、仕入債務の減少額7億27百万円（前年同四半期比7億31百万円増）が主な要因であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローにつきましては、9億22百万円（前年同四半期比2億67百万円増）の支出となりました。これは、貝塚工場及び下関工場の設備取得などの有形固定資産の取得による支出7億60百万円（前年同四半期比82百万円増）が主な要因であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローにつきましては、4億69百万円（前年同四半期比99百万円増）の収入となりました。これは、投資活動に伴う長期借入れによる収入9億70百万円、短期借入金の返済による支出4億1百万円（前年同四半期は短期借入金の借入による収入14億77百万円）、長期借入金の返済による支出6億37百万円（前年同四期比1億46百万円減）、社債の発行による収入7億92百万円が主な要因であります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期の連結業績予想につきましては、平成21年11月9日付「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

なお、本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が本資料の発表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 簡便な会計処理

① 固定資産の減価償却費の算定方法

固定資産の年度中の取得、売却又は除却等の見積りを考慮した予算に基づく年間償却予定額を期間按分する方法によっております。

2. 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,681,505	2,224,238
受取手形及び売掛金	4,943,590	5,541,276
商品及び製品	1,081,318	1,209,349
仕掛品	65,891	63,975
原材料及び貯蔵品	1,090,643	1,134,249
その他	477,381	636,760
貸倒引当金	△88,930	△85,788
流動資産合計	9,251,399	10,724,062
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,060,487	5,911,945
機械装置及び運搬具(純額)	5,931,044	5,740,059
土地	9,493,705	9,448,106
その他(純額)	426,851	659,858
有形固定資産合計	21,912,088	21,759,969
無形固定資産	32,791	33,352
投資その他の資産		
投資有価証券	914,830	881,019
その他	2,438,015	1,799,092
貸倒引当金	△37,041	△34,578
投資その他の資産合計	3,315,805	2,645,534
固定資産合計	25,260,685	24,438,855
繰延資産	30,852	25,925
資産合計	34,542,937	35,188,843

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,573,462	4,300,631
短期借入金	10,833,629	11,094,064
未払法人税等	53,251	46,844
賞与引当金	174,889	218,420
その他	2,459,345	2,341,504
流動負債合計	17,094,577	18,001,466
固定負債		
社債	1,965,000	1,350,000
長期借入金	2,639,327	2,447,904
退職給付引当金	775,895	735,064
役員退職慰労引当金	94,081	89,997
負ののれん	16,196	16,853
その他	590,738	621,937
固定負債合計	6,081,238	5,261,757
負債合計	23,175,815	23,263,223
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,319,700	3,319,700
資本剰余金	4,094,700	4,094,700
利益剰余金	3,975,381	4,556,345
自己株式	△18,231	△18,231
株主資本合計	11,371,550	11,952,514
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△4,428	△23,489
繰延ヘッジ損益	—	△3,405
評価・換算差額等合計	△4,428	△26,894
純資産合計	11,367,122	11,925,620
負債純資産合計	34,542,937	35,188,843

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	15,218,764	12,095,563
売上原価	10,615,478	8,688,476
売上総利益	4,603,285	3,407,086
販売費及び一般管理費	4,733,122	3,956,089
営業損失(△)	△129,837	△549,002
営業外収益		
受取利息	5,003	5,506
受取配当金	14,270	12,804
受取賃貸料	44,951	86,166
その他	44,837	43,318
営業外収益合計	109,062	147,795
営業外費用		
支払利息	114,818	102,490
その他	143,723	154,712
営業外費用合計	258,541	257,203
経常損失(△)	△279,315	△658,410
特別利益		
固定資産売却益	7,519	10,309
投資有価証券売却益	7	4,847
特別利益合計	7,527	15,156
特別損失		
固定資産売却損	—	46
固定資産除却損	9,692	16,186
固定資産臨時償却費	—	12,000
投資有価証券売却損	29	—
投資有価証券評価損	—	10,382
ゴルフ会員権評価損	—	1,894
関係会社株式評価損	8,835	—
防耐火構造対応関連引当金繰入額	91,000	—
防耐火構造対応関連費用	220,803	—
特別損失合計	330,360	40,509
税金等調整前四半期純損失(△)	△602,148	△683,762
法人税等	△189,123	△231,720
四半期純損失(△)	△413,025	△452,042

【第2四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
売上高	7,876,334	6,428,470
売上原価	5,484,376	4,572,666
売上総利益	2,391,958	1,855,804
販売費及び一般管理費	2,396,008	2,057,646
営業損失(△)	△4,050	△201,842
営業外収益		
受取利息	2,741	2,966
受取配当金	3,921	1,492
受取賃貸料	22,585	43,446
助成金収入	—	23,205
その他	31,708	12,089
営業外収益合計	60,955	83,200
営業外費用		
支払利息	58,520	51,738
その他	72,554	80,601
営業外費用合計	131,075	132,340
経常損失(△)	△74,169	△250,982
特別利益		
固定資産売却益	5,249	10,261
投資有価証券売却益	7	4,847
特別利益合計	5,257	15,108
特別損失		
固定資産除却損	203	15,500
固定資産臨時償却費	—	12,000
投資有価証券売却損	29	—
投資有価証券評価損	—	400
ゴルフ会員権評価損	—	1,894
関係会社株式評価損	8,835	—
防耐火構造対応関連引当金繰入額	71,803	—
特別損失合計	80,871	29,794
税金等調整前四半期純損失(△)	△149,784	△265,668
法人税等	△37,691	△88,663
四半期純損失(△)	△112,092	△177,005

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△602,148	△683,762
減価償却費	739,125	729,431
貸倒引当金の増減額(△は減少)	23,608	5,605
賞与引当金の増減額(△は減少)	△12,736	△43,531
退職給付引当金の増減額(△は減少)	33,971	40,830
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	5,272	4,084
防火構造対応関連引当金の増減額(△は減少)	91,000	—
受取利息及び受取配当金	△19,273	△18,311
支払利息	114,818	102,490
固定資産除売却損益(△は益)	2,172	5,923
固定資産臨時償却費	—	12,000
投資有価証券売却損益(△は益)	22	△4,847
投資有価証券評価損益(△は益)	—	10,382
ゴルフ会員権評価損	—	1,894
関係会社株式評価損	8,835	—
売上債権の増減額(△は増加)	277,803	593,293
たな卸資産の増減額(△は増加)	△66,204	169,721
仕入債務の増減額(△は減少)	4,714	△727,169
未払消費税等の増減額(△は減少)	14,983	△1,574
その他の資産の増減額(△は増加)	66,104	△17,337
その他の負債の増減額(△は減少)	62,862	△164,979
小計	744,931	14,144
利息及び配当金の受取額	18,778	18,237
利息の支払額	△113,162	△107,492
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△352,667	△14,178
営業活動によるキャッシュ・フロー	297,879	△89,289

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△12,455	△10,166
定期預金の払戻による収入	10,137	10,159
有形固定資産の取得による支出	△678,181	△760,218
有形固定資産の売却による収入	12,017	53,289
投資有価証券の取得による支出	△4,549	△18,643
投資有価証券の売却による収入	559	17,907
子会社株式の取得による支出	△2,800	△7,000
貸付けによる支出	△11,769	△223,030
貸付金の回収による収入	27,031	15,430
その他	4,960	△345
投資活動によるキャッシュ・フロー	△655,049	△922,617
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,477,098	△401,319
長期借入れによる収入	—	970,000
長期借入金の返済による支出	△784,301	△637,693
社債の発行による収入	—	792,285
社債の償還による支出	△105,000	△105,000
配当金の支払額	△193,074	△128,591
その他	△25,327	△20,515
財務活動によるキャッシュ・フロー	369,395	469,166
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	12,225	△542,740
現金及び現金同等物の期首残高	1,660,415	2,107,928
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,672,640	1,565,188

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

当連結グループは、石膏ボードを中心とした建築材料を製造販売しており、製品の種類、販売市場等の類似性から判断して、事業の種類別セグメント情報は記載していません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

当連結グループは、石膏ボードを中心とした建築材料を製造販売しており、製品の種類、販売市場等の類似性から判断して、事業の種類別セグメント情報は記載していません。

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

当連結グループは、海外拠点が存在しないため、該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

当連結グループは、海外拠点が存在しないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

当連結グループは、海外売上高がないため、該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

当連結グループは、海外売上高が連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

該当事項はありません。